

スペイン語会話Ⅲ

科目ナンバリング SPA-111

必修 1単位

プラスポイント

1. 授業の概要(ねらい)

このコースでは、スペイン語の総合的な基礎知識を学ぶ。学生に直説法の容易な文章講読を学習させるのみならず、日常頻繁に使用される表現やボキャブラリーをも身につけ、このコースで学んだ内容が自動的に活用できるレベルを目的とする。理論よりも実践に重点を置き、文法はあくまでも言語を理解する上での道具として捉える。

教材は、スペインで撮影・編集したオリジナルDVD付きテキストを使用する。DVDには様々な年齢層のネイティブが出演しており、受講生はモニターを通して、彼らとバーチャル会話体験をすることになる。

また言語を学ぶ上で、その背景となる文化(芸術、スポーツ、料理、習慣等を含む)の理解は不可欠であるため、時々15分のビデオ教材を使用し、その紹介にも努める。

2. 授業の到達目標

文法的に現在形と現在完了形が使い、スペイン語圏の人とコミュニケーションができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

試験 70%

平常点 30%

平常点評価は出席状況、授業への集中度と積極性、宿題提出等をその評価基準とします。

4. 教科書・参考文献

教科書

イネス プラナス ナバロ、土居 信 『ESTUDIO 1 TV』2016年 価格 3,000円 DTP出版

5. 準備学修の内容

ボキャブラリーを覚えるための単語の宿題を毎回出すので、必ず提出すること。

6. その他履修上の注意事項

積極的授業参加が最重要視されます。

教科書、辞書は必携

7. 授業内容

- 【第1回】 アルファベット、発音、スペイン語の読み方、喫茶店での会話
- 【第2回】 ボキャブラリーを覚えるためのオーラル練習(名詞)
- 【第3回】 疑問文に対し、肯定文と否定文で答える、職業・国名と国籍、会話DVD(人と知り合いになる)
- 【第4回】 ボキャブラリーを覚えるためのオーラル練習(動詞)
- 【第5回】 hayの用法、hayとestarの違い、場所を表す副詞(句)、場所や所在を表現する、スペインの町とモニュメントについて会話する、インタラクティブDVD(人物の心と身体の状態を描写する)
- 【第6回】 家系図、muyとmuchoの違い、自分の家族についてのオーラル練習
- 【第7回】 ここまでの文法の復習、所在・位置情報について話す、自分の大学について話す、会話DVD
- 【第8回】 規則動詞の直説法現在形-1、日常生活について話す-1、会話DVD(レストラン)
- 【第9回】 規則動詞の直説法現在形-2、mucho, poco/bien, malの相違点、日常生活について話す-2、インタラクティブDVD(何個の卵がある? 何本のボールペンがある?)
- 【第10回】 規則動詞の直説法現在形-3、日常生活について話す-3
- 【第11回】 1人称単数だけ不規則変化する動詞、買い物と値段、会話DVD(友人と食事する)
- 【第12回】 曜日の言い方、曜日のオーラル練習
- 【第13回】 基数(100~200万)、大きな数字まで覚えるための練習問題、数字を覚えるためのゲーム-2
- 【第14回】 小テスト
- 【第15回】 まとめと補習授業